

令和元年 12 月 25 日

令和元年度第 8 回生涯学習センター理事会議事録

日 時：令和元年 12 月 18 日（水）18 時 30 分～20 時 00 分
会 場：生涯学習センター事務所（府士会事務所 常盤セントラルビル 301 号）
出席者：千葉理事長、中川副理事長、井阪局長、芳本局長、射場局長
欠席者：金尾監事
陪席者：村西理事（大阪府理学療法士会副会長）
書 記：木村

【議題】

1. 承認事項

- 1) 前回の議事録について
令和元年度第 7 回理事会議事録は承認された。

2. 報告事項

- 1) 各局事業進捗
各局長より、資料の通り報告があった。

3. 審議事項

- 1) 【継続審議】理学療法講習会の申請について
射場局長より、理学療法講習会の申請における助成金が対象となる講習会の選定について説明があり、審議の結果承認された。
- 2) 理学療法士講習会の申請受付について
射場局長より説明があり、審議の上、承認された。理事より、今後は告知先の期限の相違を考慮して、期限を過ぎた申請の受付日確認の要否について意見があった。
- 3) 2020 認定必須研修会の受託について
射場局長より、説明があった。2020 認定必須研修会について 5 本の受託依頼があり該当部に打診したところ対応可能と回答があった。今後、受託の手続きを進めるにあたりその了承について審議され、結果承認された。
- 4) 新プロ A 項目講師基準緩和について
芳本局長より説明があった。審議の結果、講師基準を府士会と生涯学習センターの部長・副部長まで拡大し、基準を緩和することが承認された。
- 5) 受託研修部部員の増員について
射場局長より、受託研修部部員の増員について説明があり、審議の結果承認された。理事より、増員に伴う支出については、来年度予算にも反映し計上するよう意見があった。
- 6) 新プロ研修サテライト追加賃借について
芳本局長より、説明があった。教育新制度導入に先立ち、新プロ研修の参加者が増えることが見込まれる。全参加者を収容できる会場の拡大を目的として研修サテライトを追加し対応することの要否について審議された。結果、第 1 回（5 月開催）研修会に限り承認された。ただし、対象の範囲内となる第 4 回研修会の実施については会場費の経費等検討が必要であるため継続審議とする。

7) 学術大会演題査読人数の減員について

射場局長より、査読を依頼する有資格者の確保や運営上の負担軽減のため、査読人数を5人から3人に減員することについて説明があった。減員後も査読内容の質は担保されることが可能であるとの意見もあり、以上審議の上、承認された。

8) 新プロ未修了者対策特別委員会の設置について

千葉理事長より、新生涯学習システム制度の確立に向けて未修了者対策を目的に特別委員会の設置について説明があった。また、その活動として、新プロ未修了者の在籍する施設や個人会員への文書発送、その他、HP や Facebook などへの広報活動について、審議の上、承認された。

9) 広報部員1名増員について

井阪局長より、今回の増員については当初からの目標人数に対する補充であり、今後は業務を分担し効率化を図ると説明があった。審議の上、承諾された。また、理事より現在の業務に関して、進捗状況を報告するよう意見があった。

4. 懇談会

1) 令和2年度事業予算の見通しについて

井阪局長より、資料の通り報告があった。
1月理事会にて審議にかかる予定である。

5. その他

なし

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【継続審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局 局長
議題	理学療法講習会の申請における、助成金が対象となる講習会の選定について		
内容及び提出趣旨	<p>① 理学療法講習会の申請数23本あり、そのうち4本が助成金の申請あり。今年度より、各士会1本と制限され、各士会にて審査が必要。受託研修部で作成した審査表をもとに審査の結果、「急性期呼吸理学療法の臨床実践」（担当者：上村洋充氏）を推薦したいと考えます。</p> <p>推薦理由 「目的に対し、的確な内容で企画されており、講習会内容も非常に有用である。また、運営予算計画も適正であるため」</p> <p>資料添付 ・理学療法士講習会申請一覧（助成金あり、なし） ・助成金申請あり講習会 採点表 ・採点結果一覧</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 射場 一寛		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局 局長
議題	理学療法講習会の申請における、申込み期限を過ぎて申し込まれた申請に対する対応について		
内容及び提出趣旨	10月31日の申込み期限を過ぎて申請されたものがあります。しかし、協会への申請期限は11月末であるため、申請に間に合うものは受付ようと考えます。		
理事会での意見・内容等	そのまま、受け付けるのではなく、遅れた理由を聴取した上で「今回は受け付けるが」など、ペナルティを与えることも必要。		
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 射場 一寛		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局 局長
議題	2020年度認定必須研修会 受託依頼について		
内容及び提出趣旨	5本の開催依頼がありました（資料参照） 受託研修部は全て受けることは可能とのことでしたので、協会へ開催に関する手続きを進めたいと思います。		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 射場 一寛		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	芳本康司	職名	教育局長
議題	新プロ A 項目担当講師の規定緩和について		
内容及び提出趣旨	<p>現在新人教育プログラムの A 項目領域の講師は、府士会（センター含む）理事と規定されております。</p> <p>ただし次年度は年間 4 回の新プロ研修会を開催し、内第 1 回（5 月 31 日）と第 3 回（10 月 8 日）の 2 回に A 項目領域の研修会を開催する計画をしております。</p> <p>よって、講師の数が通年のほぼ倍数が必要となるため、府士会の理事の方々のご負担を考慮して、講師基準を学習センターの部長・副部長まで拡大していただけますでしょうか。</p> <p>ご審議のほど宜しくお願い申し上げます。</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 芳本康司		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局長
議題	受託研修部 部員の増員について		
内容及び提出趣旨	<p>担当事業は協会関連の研修会・講習会の管理運営です（認定必須研修会、理学療法士講習会）。</p> <p>認定必須研修会においては、協会との連携と開催当日の管理運営。理学療法士講習会においては、講習会申請の窓口となり、申請書の作成指導や確認、また、協会からの助成金対象とする場合、審査が必要となります。</p> <p>部員数を2名から5名へ増員したいと考えます。審議お願い致します。尚、部員については、認定や専門理学療法士の資格を持った者を選出する予定です。</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 射場 一寛		
備考	部員数増員に伴う、来年度の事業予算書も提出いたします。		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	芳本康司	職名	教育局長
議題	新プロ研修サテライト会場追加賃借について		
内容及び提出趣旨	次年度、新プロ研修では、教育新制度導入前となり、かなりの人数が新プロ研修に参加するとおもわれ、その数は1000名を超えると予測される。現状の会場では集約人数の上限が1000人であり、このままではすべての参加者を集約できない可能性がある。まず第一回目はサテライト会場を借りて状況を確認したいと計画し、サテライト会場の賃借をお願いしたい。 ご審議のほど宜しくお願い申し上げます。		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 芳本康司		
備考			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場 一寛	職名	生涯学習局長
議題	大阪府理学療法学会大会における演題査読人数の減員について		
内容及び提出趣旨	<p>「大阪府理学療法学会大会 優秀演題賞規程」に従い、日本 PT 協会の認定・専門理学療法士の資格を持つ理学療法士が、1つの演題に対して5人で査読を行っております。最近では100演題以上がエントリーされ、500人以上の査読者が必要となります。大阪府内での取得者は多くないため、1人が負担する査読する本数が増え、また、運営側の問題として、エントリーされたものを査読者5人に振り分ける作業を手作業で行わないといけないことが挙げられます。</p> <p>演題を審査するにあたり、審査項目はそのまま、3人で審査しても差支えないと考えます。採点された点数の「平均」ではなく「中央値」をとれば、採点者を多くした場合の平均に近づくといわれています。</p> <p>演題査読人数を5人から3人への減員について、審議の程よろしくお願い申し上げます。</p>		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 射場 一寛		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府における認定 PT 781名、専門 PT 144名 (2019年7月) ・査読者数の参考データ：医学会3名、看護学会2名 		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	千葉 一雄		職名	理事長
議題	新人教育プログラム未修了者対策特別委員会の設置について			
内容及び提出趣旨	<p><目的> 生涯学習は個人の自己研鑽に委ねられた時代から、協会が社会に示す新生涯学習システムは質保障である「登録理学療法士」は必須資格といえます。 また、新生涯学習システム前期・後期研修では実地研修に施設内 OJT 指導に登録理学療法士以上の要件となり、指導者がいない場合は施設外部へ研修を受けなくてはなりません。そのなると修了要件のハードルは高くなり新たな前期研修・後期研修の修了率低下は避けられない。 新生涯学習システム制度の確立に向けて大阪府会員はひとり残らず、新しい制度に乗り遅れないように取得獲得に向けた未修了者対策を目的に特別委員会の設置を提案する。</p> <p>構成委員 委員長 千葉 副委員長 芳本、加藤(府士会) 委員 大槻、塩津、永吉、元石、辻畑、</p> <p style="text-align: right;">添付資料： 4部</p>			
理事会での意見・内容等	承認			
審議結果				
備考	対応部局または理事氏名 千葉 一雄			

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	事務局長
議題	広報部員1名増員について		
内容及び提出趣旨	現在広報部は部長1名、部員1名、計2名で活動していますが、ホームページ、SNS(インスタグラム、Twitter)機能拡充を図るため1名の増員をお願いしたいと存じます。ご審議をお願い致します。 部員氏名:木村聡一郎氏(所属先:ももの木訪問看護リハビリテーション)		
理事会での意見・内容等			
審議結果	承認		
	対応部局または理事氏名 井阪 美智子		
備考			